

物流による環境負荷を低減する取り組みは企業が果たす重要な役割といえます。ミネベアグループでは、モーダルシフトをはじめとして、CO₂や大気汚染物質の排出低減に考慮した物流に取り組んでいます。

物流の環境配慮

◎ストレッチフィルムからリユース・リサイクル可能なバンドへの変更

従来、輻機製品を藤沢工場から東京湾近郊の倉庫まで輸送する際の荷崩れ防止策として、ポリエチレン製のストレッチフィルムを使用していました。このストレッチフィルムは一度取り外すと再利用はできず、すべて1回使用しただけで廃棄となります。

この対策として、リユースが可能なバンドを使用することにしました。このバンドは約1,000回リユースができ、また、寿命後は繊維材としてリサイクルが可能です。この変更により、温暖化の原因となるCO₂を削減することができました。CO₂削減量については、右の説明をご覧ください。

1パレットのストレッチフィルムを焼却することで約0.045kg^(注1)のCO₂が発生します。1カ月に約300パレットの貨物を輸送していますので、約13.5kg/月のCO₂を削減することができます。

また将来的には、中国上海西岑工場～中国華南地区のファンモーター製品の輸送についてもリユース・リサイクルバンドを採用していく予定です。今後も継続して環境に配慮した物流業務を推進していきます。



【従来】
ストレッチフィルム(ポリエチレン製)による荷崩れ防止。
1パレット当たり5～6周巻き、約25m使用。

従来



開梱後の廃棄物としてのストレッチフィルム

改善後



リユース・リサイクル対応バンド(ポリエステル製)による荷崩れ防止。
リユース回数=約1,000回。
寿命後、繊維材としてリサイクル。

注1) 数値はリユース・リサイクルバンドのメーカーカタログより抜粋。

「炭素1kgから発生するCO₂は3.67kg」として計算した場合、ストレッチフィルム50cm(幅)×25mの完全燃焼時のCO₂発生量は0.045kg。